
那覇市コロナ期観光回復戦略 ～進捗評価・令和5年度実施方針～

令和5年5月10日
那覇市観光課

1. 那覇市コロナ期観光回復戦略について

2. 令和4年度実施状況について

3. 進捗評価・R5年度実施方針

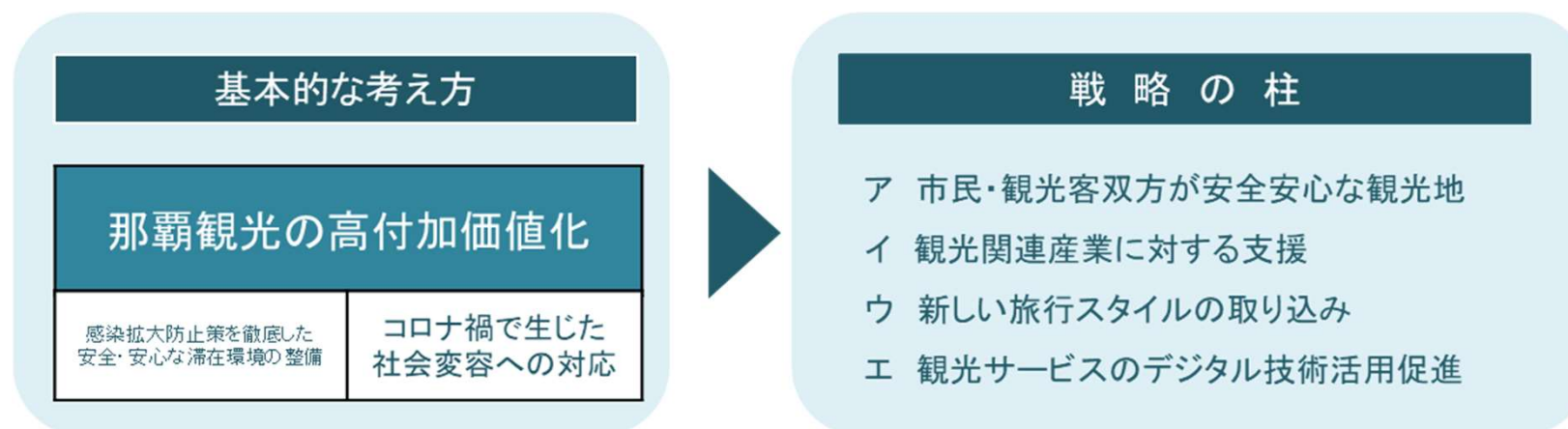
- ・ ア 市民・観光客双方が安全安心な観光地
- ・ イ 観光関連産業に対する支援
- ・ ウ 新しい旅行スタイルの取り込み
- ・ エ デジタル技術活用促進
- ・ 優先的に実施が必要な観光施策

1. 那覇市コロナ期観光回復戦略について

○戦略の目的

本市観光関連産業への支援や誘客活動などによる観光回復を牽引する観光施策の当面の方向性を示すため、令和3年11月に「那覇市コロナ期観光回復戦略」を策定しました。

○基本的な考え方と戦略の柱



2. 令和4年度実施状況について

那覇市経済観光部内の実施事業・取り組みを戦略の柱・取り組み毎にまとめたものです。

戦略の柱	関連事業・取組数		事例
ア 市民・観光客双方が安全 安心な観光地	ア-(1)観光客に対する感染対策実施の周知	1	● プロ野球キャンプにぎわい創出事業 ● 市内宿泊・観光体験等促進クーポン事業（那覇とまえるクーポン） ● 市内貸切バス事業者支援事業
	ア-(2)市民・観光関係事業者の感染拡大防止対策	2	
イ 観光関連産業に対する支援	イ-(1)消費・宿泊需要喚起	2	● 市内宿泊・観光体験等促進クーポン事業（那覇とまえるクーポン） ● 市内貸切バス事業者支援事業 ● NAHAマラソンコロナ対策支援事業 ● 那覇市コロナ対策事業刷新支援事業 ● ウェディング支援事業 ● 早朝・夜間の活動時間創出支援事業
	イ-(2)事業継続支援・応援給付金	3	
	イ-(3)新たな観光コンテンツ創出支援	1	
ウ 新しい旅行スタイルの取り込み	ウ-(1)県内旅行の推進	1	● 市内宿泊・観光体験等促進クーポン事業（那覇とまえるクーポン） ● 那覇MICE受入推進事業
	ウ-(2)都市型ワーケーションなどの滞在型旅行の促進	0	
	ウ-(3)都市型MICE受入の推進	1	
エ デジタル技術活用促進	エ-(1)観光関連事業者のデジタル技術活用を促進	1	● 那覇市コロナ対策事業刷新支援事業
	エ-(2)デジタルマーケティングの推進	0	

※1つの事業が2つの戦略の柱に重複することがあり、合計数とは一致しない。

3. 進捗評価・R5年度実施方針

戦略の柱 ア 市民・観光客双方が安全安心な観光地

ア－(1)観光客に対する感染対策実施の周知

令和4年度 答申	旅行会社や観光施設等と連携し、旅前、旅中を意識した感染対策実施状況等の安全安心の周知をお願いしたい。また、イベント開催による感染情報の公開を行い、安心感の共有、対策徹底のアピールを行っていただきたい。
進捗状況	春季キャンプ来場者に安全で楽しく過ごせる環境を提供するため、県のガイドラインに従い、キャンプ実施前には球団にて安全計画を策定し県へ提出行った。また、感染ガイドライン及び安全計画に基づき以下の感染対策を実施。 ● 関係者についてはPCR検査をキャンプ前に実施。 ● 来場者が入場する際には検温及び手指消毒を実施。手指消毒用アルコールは会場各所(トイレ、ステージ前の机など)に設置した。 ● 選手及び関係者入口にサーマルカメラ、自動手指消毒器を設置 など。 【参考】 来場者数(2/16～3/5) ・キャンプ期間中合計:124,506人(オープン戦含) ・オープン戦(2/25,26):14,506人
評価	球団ホームページ等で感染対策について広く広報することにより、来場者の理解を得ながら大きな問題も起きずキャンプが実施出来たと考える。 昨年の感染対策ノウハウ、対策線引きが明確になったことから、来場者の理解により、今年のキャンプではファンサービス等が実施できたと考える。
R5年度方針	令和5年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類感染症」へ移行することもあり、関係団体等の意見を踏まえ検討していきたい。

3. 進捗評価・R5年度実施方針

戦略の柱 ア 市民・観光客双方が安全安心な観光地

ア－(2)市民・観光関係事業者の感染拡大防止対策

令和4年度 答申	インバウンド客向け感染対策説明に係る支援、WEB やSNS を活用した感染防止策の具体的取組情報、混雑状況等の情報を提供する仕組みを検討していただきたい。
進捗状況	「市内宿泊・観光体験等促進クーポン(那覇とまーるクーポン)」などの事業を実施する際、感染拡大防止対策のための条件を設置して実施した。 ・国や県の新型コロナウイルス対応ガイドラインの遵守することが要件 ・参加事業者の条件は、感染拡大防止対策認証事業者 ・利用者には利用条件を設定して実施 「市内貸切バス事業者支援事業」では、補助を利用してバスの予定利用台数を増やし、車内密をさけるという感染拡大防止対策の利用にも活用できた。
評価	事業実施が、事業者支援や消費喚起だけでなく、感染拡大防止対策にも寄与し、幅広い取り組みとして実施できたと考える。
R5年度方針	国県の動向を注視しつつ、必要に応じて検討していきたい。

3. 進捗評価・R5年度実施方針

戦略の柱 イ 観光関連産業に対する支援

イー(1)消費・宿泊需要喚起

令和4年度 答申	那覇の魅力を引き出す支援で那覇への集客に繋げ、那覇宿泊者への特典などで滞在を伸ばすなどの取組をしていただきたい。また、消費・宿泊需要喚起施策の効果が飲食を含め広く事業者にも及ぶような、取り組みの継続や業界・業種間の公平性に配慮した支援をお願いしたい。
進捗状況	令和4年度に引き続き、「市内宿泊・観光体験等促進クーポン(那覇とまーるクーポン)」「市内貸切バス事業者支援事業」を実施し、旅行需要を喚起に繋げた。 【実績】 「市内宿泊・観光体験等促進クーポン(那覇とまーるクーポン)」 R3年度繰越分 宿泊利用人数 16,188人 補助額 75,581,182円 R4年度 宿泊利用人数25,000人 補助額121,744,195円 観光体験利用人数のべ6,524件 補助額48,010,777円 「市内貸切バス事業者支援事業」 R3年度繰越分 利用件数118件 利用台数298台
評価	- 長引くコロナ禍で消費が伸び悩む中での本事業実施は市内多くの宿泊・観光体験の需要創出に一定の効果があったと考えている。 - 利用者アンケートにおいては、「普段利用しない宿泊施設や観光体験が体験出来て良かった」との声があがり、宿泊を通じた消費額については、以下のアンケート結果が得られた。 とまーるクーポン宿泊を通じた食費消費額:2,000円以上 約65% 観光施設・買い物:2,000円以上 約80% - 宿泊事業者をはじめ、その他の観光関係事業者にも波及効果があったと評価している。 - 利用者からの好意的な意見が多く、事業者支援の面からも利用促進につながったと思う。
R5年度方針	令和5年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類感染症」へ移行することもあり、関係団体等の意見を踏まえ検討していきたい。

3. 進捗評価・R5年度実施方針

戦略の柱 イ 観光関連産業に対する支援

イー(2)事業継続支援・応援給付金

令和4年度 答申	支援のニーズ把握、効果検証を行い、事業者が継続して事業運営を行える施策を行っていただきたい。
進捗状況	● 第36回NAHAマラソン開催にかかる新型コロナ対策費用の支援を行い、安心安全な大会運営をはかった。 ● 市内に事業所を有する法人又は個人事業主が倒産の回避や雇用を守ることを目指しながら、新たな取り組みに要する経費の一部を支援する「那覇市コロナ対策事業刷新支援事業」を行った。 ● 市内在住の結婚を予定しているカップル等に対して、市内の結婚式場等を使用し、感染対策等を行ったうえで、披露宴もしくはフォトウェディングを行う場合にその費用の一部を補助する「ウェディング支援事業」を行った。
評価	● 「那覇市コロナ対策事業刷新支援事業」は、交付件数が20件(申請件数40件)と、当初の想定件数を上回る申請があり、より多くの市内事業者へ支援が実施できたと評価する。 ● 「ウェディング支援事業」は、交付決定者(185件)に対してアンケート調査を実施したところ、93件(回答率50.3%)の回答があり、大半の回答者がウェディング支援事業に「満足」「大変満足」と回答しており、全体としては好評であった。当該補助金を活用して結婚式等のグレードアップをした方が4割おり、一定程度の経済効果もあったと評価する。
R5年度方針	令和5年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類感染症」へ移行することもあり、関係団体等の意見を踏まえ検討していきたい。

3. 進捗評価・R5年度実施方針

戦略の柱 イ 観光関連産業に対する支援

イー(3)新たな観光コンテンツ創出支援

令和4年度 答申	SDGsに関連したコンテンツ(ユニバーサルツーリズム等)、既にある観光素材を活用したコンテンツなど、那覇滞在に繋がる魅力あるコンテンツ創出目的を念頭に柔軟に活用できる支援事業を企画していただきたい。
進捗状況	観光客等の活動時間創出及び市内消費額の増加に寄与することを目的とする「早朝・夜間の活動時間創出支援事業」を実施。 補助対象者を観光まちづくりに資する取組を行うものとし、 ・観光客等に対するコンテンツ造成 ・観光客のニーズ調査やコンテンツ開発に係る実証事業 ・ニーズ調査等を踏まえた情報発信事業 を対象事業に取組を支援した。 【実績】 補助対象件数:2件
評価	当初予定では、通常枠・小規模枠2件ずつの支援だったが、実際には総応募件数7件中2件の採択に留まった。事業計画立案の段階から何らかの形で支援を行う必要があると考える。 早朝、夜間のコンテンツ創出に着目したが、結果として補助制度として利用し辛いとの声も聞かれたため、幅広いコンテンツ創出の支援について検討が必要。
R5年度方針	国、県でも民間事業者等のコンテンツ創出に対する支援が行われている。それら支援制度を踏まえ、市としての支援の在り方について検討する

3. 進捗評価・R5年度実施方針

戦略の柱 ウ 新しい旅行スタイルの取り込み

ウー(1) 県内旅行の推進

令和4年度 答申	事業の継続実施を行い、事業者、利用者双方の満足度調査等を行って検討していただきたい。また、コロナ感染拡大等による事業中止の検討は、観光産業の厳しい現状を勘案し判断していただきたい。
進捗状況	イー(1)消費・宿泊需要喚起「市内宿泊・観光体験等促進クーポン(那覇とまーるクーポン)」に同じ
評価	イー(1)消費・宿泊需要喚起「市内宿泊・観光体験等促進クーポン(那覇とまーるクーポン)」に同じ
R5年度方針	イー(1)消費・宿泊需要喚起「市内宿泊・観光体験等促進クーポン(那覇とまーるクーポン)」に同じ

ウー(2) 都市型ワーケーションなどの滞在型旅行の促進

令和4年度 答申	市内周遊サービスをサブメニューとするプラン、MICEとのコラボプラン、とまーるクーポンと連携したプランなど、ワーケーション利用促進のためのプラン支援を行っていただきたい。
進捗状況	実施事業なし (関係事業者との意見交換は行ったが、事業実施には至っていない。)
評価	—
R5年度方針	関係事業者等の意見や希望を踏まえつつ、支援について検討する。

3. 進捗評価・R5年度実施方針

戦略の柱 ウ 新しい旅行スタイルの取り込み

ウー(3)都市型MICE受入の推進

令和4年度 答申	関係団体や業界団体の意見・意向聴取など実効性ある取組を迅速に進めていただきたい。市内のMICEコンテンツを繋げたパッケージとして主催者へ提案する仕組み作り、施設情報やMICEコンテンツの集約・発信等によるMICE開催誘致に繋げる施策を行っていただきたい。
進捗状況	本市でのMICE開催を推進する体制を構築し、MICE開催件数増加等による観光収入の増加を図るため、「那覇MICE受入推進事業」を実施。 ○那覇MICE受入推進会議 3回開催 ・・・MICEに関係する有識者にて構成し、本市MICE推進上の課題や取組内容を整理した。 ○市内事業者向けアンケート実施 ・・・対象67件中44件の回答回収。MICE受入に取り組んでいるのはうち39件であった。 ○MICE情報発信に向けたホームページのあり方を整理した。
評価	本市のMICE推進に向けた取組を整理できた。
R5年度方針	具体的な誘致ターゲットを設定予定。 本市のMICEワンストップ相談窓口の開設準備、MICE活用可能な本市所有施設の事前予約期間の統一について検討予定。

3. 進捗評価・R5年度実施方針

戦略の柱 エ デジタル技術活用促進

エー(1)観光関連事業者のデジタル技術活用を促進

令和4年度 答申	デジタルデバイス活用による那覇市の情報発信の取組、店舗や観光施設のデジタル技術導入のための環境整備支援を行っていただきたい。
進捗状況	イー(2)事業継続支援・応援給付金「那覇市コロナ対策事業刷新支援事業」に同じ
評価	イー(2)事業継続支援・応援給付金「那覇市コロナ対策事業刷新支援事業」に同じ
R5年度方針	市内事業者のDX促進に寄与するため、調査にて現状の課題やニーズを把握し、必要な取組の整理を行う。さらに意向調査や意見交換を行い、DX化の取組に向けた支援を行う。

エー(2)デジタルマーケティングの推進

令和4年度 答申	購買データと人流分析を組み合わせた観光統計の充実を図っていただきたい。ビックデータから検討する施策づくりでは、事業者や地域住民の意向も反映できる仕組みづくりをしていただきたい。また、デジタルマーケティングを活用できる人材育成強化の支援や先進地事例を学ぶ機会の提供などを行っていただきたい。
進捗状況	実施事業なし (次期計画策定時のデータ収集や、策定後の指標・目標値の進捗評価のためのデータ取得を想定し、観光入込統計調査の手法を検討。IT・DX展示商談会へ参加し、人流データ分析やSNS分析等を実施する事業者からの情報を収集した。)
評価	—
R5年度方針	令和5年度における、次期計画策定前の調査において調査手法として検討する。引き続きデジタルマーケティングに関する情報収集を実施。

3. 進捗評価・R5年度実施方針

「令和4年度観光審議会答申」の優先的実施が必要な施策に対する 那覇市経済観光部内の実施事業・取り組みをまとめたものです。

優先的に実施が必要な施策

進捗状況・今後の方針

● 那覇への誘客や滞在を伸ばす取組

【答申】

とまーるクーポンの事業継続に加え、GoToトラベルや地域観光事業支援を活用した来訪者に対する上乗せ補助の実施、市内での観光消費につながるイベントや国際通り・ウォーターフロントエリア等での定期的なイベントの開催など、目的やターゲットを設定したイベント実施への支援を図っていただきたい。また、民間事業者の企画提案に対する補助など、那覇の魅力体験や楽しむコンテンツ創出・実現に向けた支援も行い、那覇への誘客や滞在を伸ばすことによる経済波及効果が期待できる取り組みをおこなっていただきたい。

【進捗状況】

- ・「市内宿泊・観光体験等促進クーポン(那覇とまーるクーポン)」
- ・「市内貸切バス事業者支援事業」

【今後の方針】

今後も新たなコンテンツ創出、実現に向けた支援などを検討していきたい。

● レンタカー不足による 他公共交通機関代替の取組

【答申】

レンタカー不足が深刻化する中で、レンタカーがなくても市内を周遊できることのプロモーション活動等、公共交通機関に加え、ハイヤータクシーやシェアサイクル等の幅広い移動手段を活用した取り組みを進めていただきたい。

【進捗状況】

レンタカー不足に対応する代替プランの紹介など、県やOCVB、他SNSなどですでに配信されていたことと、対応検討中に急速な回復の傾向もあり、事業実施までには至らなかった。

【今後の方針】

公共交通機関等の活用促進への取組は、観光環境の動向や関係団体等の意見を踏まえ効果的な施策について検討していきたい。

3. 進捗評価・R5年度実施方針

「令和4年度観光審議会答申」の優先的实施が必要な施策に対する 那覇市経済観光部内の実施事業・取り組みをまとめたものです。

優先的に実施が必要な施策

進捗状況・今後の方針

● 人材確保に向けた支援

【答申】

時給を上げるための施策等に加え、福利厚生拡充や継続的な人材確保のための意識啓発セミナー開催などの支援、有給のインターンシップに対する支援などを行っていただきたい。

【進捗状況】

人材確保に向けた支援については、市単独での有効な対策を講じることが困難であり、事業実施には至っていない。

【今後の方針】 国や県などの動向も注視しつつ、関係部署と連携し効果的な支援策について検討していきたい。

● 都市型MICE受入れへの取組

【答申】

関係団体や業界団体の意見・意向聴取など実効性ある取組を迅速に進めていただきたい。

【進捗状況】

本市でのMICE開催を推進する体制を構築し、MICE開催件数増加等による観光収入の増加を図るため、「那覇MICE受入推進事業」を実施。

那覇MICE受入推進会議 3回開催、市内事業者向けアンケート実施、MICE情報発信に向けたホームページのあり方を整理した。

【今後の方針】

具体的な誘致ターゲットを設定予定。

本市のMICEワンストップ相談窓口の開設準備、MICE活用可能な本市所有施設の事前予約期間の統一について検討予定